

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団
2009. 4. 8号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

ベネッセの広告入り学習ガイド配布はやめて!

横浜市教育委員会は、教育産業大手の㈱ベネッセコーポレーションと協働して、「はまっ子家庭学習まるわかりガイド(小学生版)」および「はまっ子家庭学習パーフェクトガイド(中学生版)」を、全額ベネッセ負担で作成しました。すでに2・3月の入学説明会などで小中学校の新生の保護者に配布しており、今後は学級懇談会やPTAの会合などで配るとしています。

学習ガイドには、新学習指導要領や家庭学習のヒント、学習アドバイスなどのほか、ベネッセがやっている通信教育「進研ゼミ」の広告が4ページにわたって掲載されており、無料で鉛筆やドリルなどのプレゼント応募はがきもついており、裏表紙には市の相談窓口と並んでベネッセの教育相談の連絡先の案内、プレゼント応募について記載されています。

日本共産党横浜市議団は2日、教育委員会に学習ガイドの配布と企業広告掲載の中止を申し入れました。申し入れでは、特定企業に経費負担と引き換えに宣伝の場を提供したことになり、



配布された家庭学習ガイド。左が中学生用、右が小学生用。

経費削減を第一義の理由に、公教育を行う教育委員会が教育産業の広告を掲載した冊子を配るべきではないと主張しました。

田村教育長は、冊子の「PR」の文字が小さかったことや、応募はがきをつけたことなど改善すべき点もあり、今後検討したいと言いつつも、「賢い市民は広告だとわかってくれる」などと、広告掲載を今後も続ける意向を示しました。



田村教育長(中央)と懇談する(左から)関美恵子、中島文雄、大貫憲夫、(一人とんで)白井正子、河治民夫の各市議。

＝2009. 4. 2 横浜市教育委員会教育長室

○学習ガイドを読んだ小中学生の親の声

「うちの子は大丈夫かと不安になった」
「学校から配布された冊子に特定企業の広告がついていることで、特定企業を勧めているように受け取れる」
「教育委員会、公立学校や教師が一体となって、進研ゼミをやらないとだめだといっているようだ」
「なぜ学ぶのか、その楽しさではなく、内申をあげ、テストでいい点を取り、『いい』高校に行くことが教育だと受け取れる」

○子どもの声

「うちはお金がなく、どこも申し込めないから不安だ」